

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GPD福知山	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市市長田野町2丁目513	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年1月27日
敷地面積	29,875 m ²	作成者	寺川幸子
建築面積	14,891 m ²	確認日	2023年1月27日
延床面積	28,742 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★★★★★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

機能性	N.A.
耐用性	3.3
対応性	4.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.3
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	3.7
地域環境	3.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めた。機能的な空間づくり、省エネルギーへの配慮に取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷重の計画により、設備やプランニングの自由度が極めて高く、将来用途変更可能性へ配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の景観に調和するようシンプルな外観デザインとした。
LR1 エネルギー LED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 建物の節水性に配慮している。躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。ノンフロン断熱材を使用し、汚染物質含有材料の使用回避を行った。	LR3 敷地外環境 消費エネルギー量削減により運用時のLCCO ₂ 排出量低減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される